

加賀丸いも グリーンカーテン プロジェクト (略称:丸いも GP)  
～特産の伝統野菜を活かし、社会貢献&地域づくりの推進～

おこのみ志民クラブ



「加賀丸いも」とは・・・

石川県能美市、小松市の地域で栽培されている伝統野菜。強い粘りと高い栄養価が特徴のご当地山の芋。大正時代初めに伊勢(三重県)から持ち込まれた「伊勢いも」がルーツと言われている。2013年12月1日、「加賀丸いも100年記念祭」が開催された。栽培量は減少傾向。栽培農家も減少、高齢化が進行。

食べるだけじゃない  
社会貢献する伝統野菜、  
加賀丸いも。

エコ



OEC-ECO!

オイシーエコ!  
美味しいエコ!



2012年5月、地元愛あふれる若手の加賀丸いも生産農家の一言「丸いもはツル性だから、グリーンカーテンになるのでは。やってみよう」と、この社会貢献エコ活動はスタートしました。

活動の中心になっているのは、加賀丸いもでもまちおこし活動を推進している能美市の市民グループ「おこのみ志民クラブ」の「みまるとNPO法人エコ未来塾」。1年目は、各団体メンバーが家庭で試行するほか、能美市役所等の公共施設敷地所で実施しました。

2年目となった昨年2013年には、いしかわ動物園や市外の石川県立大学環境対策委員会学生の協力もいただきました。

3年目の今年は、石川県立翠星高校等の協力もいただき、だれもが参加しやすい方法を模索しながら、「丸いもグリーンカーテン」を通じたエコ活動の推進、ご当地グリーンカーテンを通じた地域の輪づくり、ご当地愛の醸成を図っています。

100年の伝統ある地元野菜「加賀丸いも」の新たな魅力が創出されてきています。

地域の輪づくり

ご当地愛の醸成



審査委員コメント

全国的にグリーンカーテンの取り組みが広がる中で、地元の特産物である加賀丸いもを活用した取り組みを広げていることを評価します。今後のさらなる取り組みの広がり期待します。